

区のおせり＝「18班陳情の採決」を急ぐ与党(11月の建設委員会で) 18班地区＝「スーパー堤防事業の取り消し」を求めて訴訟を決意！（11月提訴）

「考える会」から講演会とイベントのお知らせ

10月24日(金)の建設委員会で田島委員長(自民)は「18班のスーパー堤防関連の陳情を、次回に結論を出す」として各会派の意見を求めました。これに対し自民・公明は賛成の意を表しましたが、小俣委員(共産)・新村委員(ネット)は「国が年内に重点区間を示す、と言っているのだからそれを待つからで良いではないか」と、十分審査をしないままでの採択に反対しました。(詳細は、裏面「建設委員会傍聴記」に記載)

そのように、国の方針が決まっていな段階で江戸川区がスーパー堤防を前提にした区画整理事業を、住民の意志を無視してまで強行しようとするのは不法だと、各会の住民が、10月31日に輿石幹事長と国土交通大臣へ陳情をしました。また、18班の住民が原告団となり『スーパー堤防事業の取り消し』を求めて訴訟を起こすことになりました。

日程は、11月11日(金)に提訴し、東京地裁の司法記者クラブで記者会見をする段取りになっています。

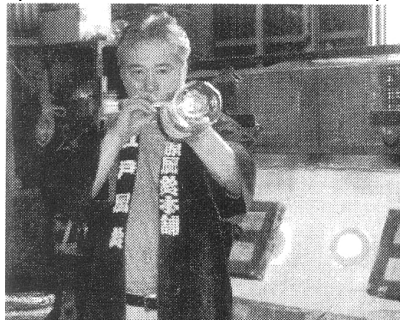
スーパー堤防構想を撤回させるまで、支援していきましょう。



ジャーナリスト
まさのあつこ氏(撮影・事務局)



陶芸作家 林 信弘氏
(写真・東都よみうりより)



江戸風鈴師 篠原 裕氏
(写真・東都よみうりより)

いくつもある「必要のないムダな公共事業」のその中で有識者会議が中間取りまとめを行なった二つの事業「ハツ場ダム」と「スーパー堤防」にスポットをあて、講演や執筆に多忙なジャーナリストのまさのあつこさんの講演を行います。

また、小岩にある「甲和焼き」の陶芸工房の作家と、篠崎の「江戸風鈴」を伝統工芸まで高めた3代目社長のお話を心ゆくまでお楽しみください。

・とき：11月20日(日)午前10時～12時

・ところ：北小岩コミュニティ会館 2階

・入場無料

・お話し：「甲和焼きの特徴と作品」

＝「芝窯」窯元 林 信弘氏

・お話し：「江戸風鈴の特徴と商品展示」

＝「篠原風鈴本舗」 篠原 裕氏

◎講演：「ハツ場ダムの真実と河川の在り方」

＝ジャーナリスト まさのあつこ氏